

# トラック輸送情報（平成16年4月分）

平成16年 7月 6日  
国土交通省総合政策局情報管理部交通調査統計課  
担当：高橋、荒木 内線28315  
直通：03-5253-8342  
ホームページ <http://www.mlit.go.jp/>

## 1. 特別積合せ貨物

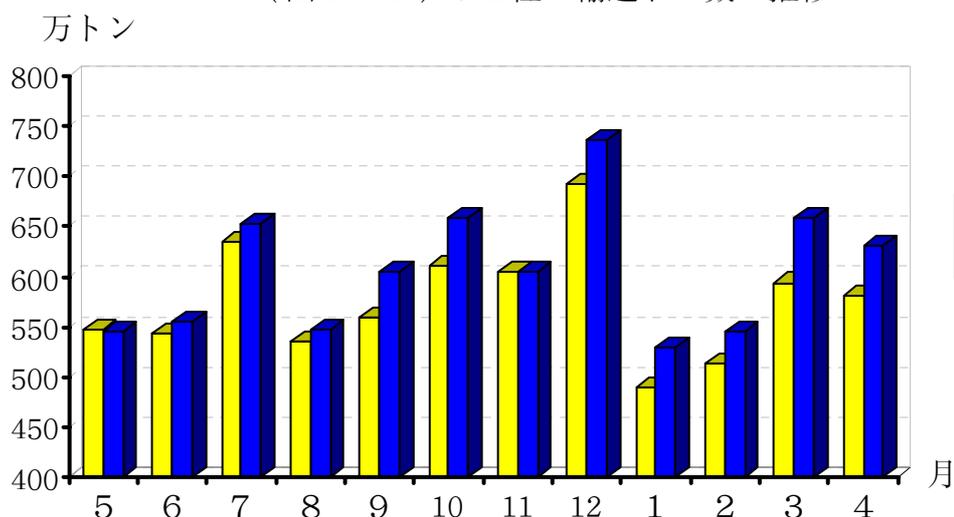
### (1) 本月の概況

調査対象32社( )の本月の輸送量は、6,305,511トンで、前月と比べ、総輸送量が約28万トン減少したため、前月比95.7%（季節調整済み100.0%）、前年同月と比べると、約48万トン増加したため、前年同月比108.3%の実績であった。（注：3月の輸送量は6,585,761トンに修正となりました。）

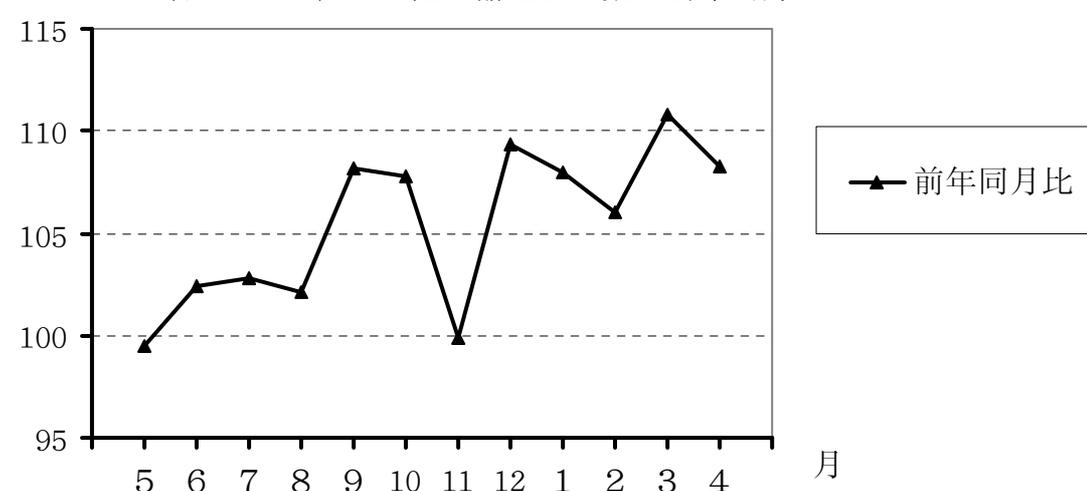
なお、平均稼働日数は、23.4日で、前月と比べ、1.8日の減少、前年同月と比べると、0.1日の減少であった。稼働1日当たりの輸送量は、269,466トンで、前月と比べ、約8千トン増加したため、前月比103.1%、前年同月と比べると、約2万トン増加したため、前年同月比108.8%の実績であった。（図1-1、図1-2参照）

( ) 調査対象のうち1社に経営形態の変更（分社化）が行われたため、当月より調査対象が32社となったが、対前年同月比並びに対前月比についての影響はない。

(図1-1) 32社の輸送トン数の推移



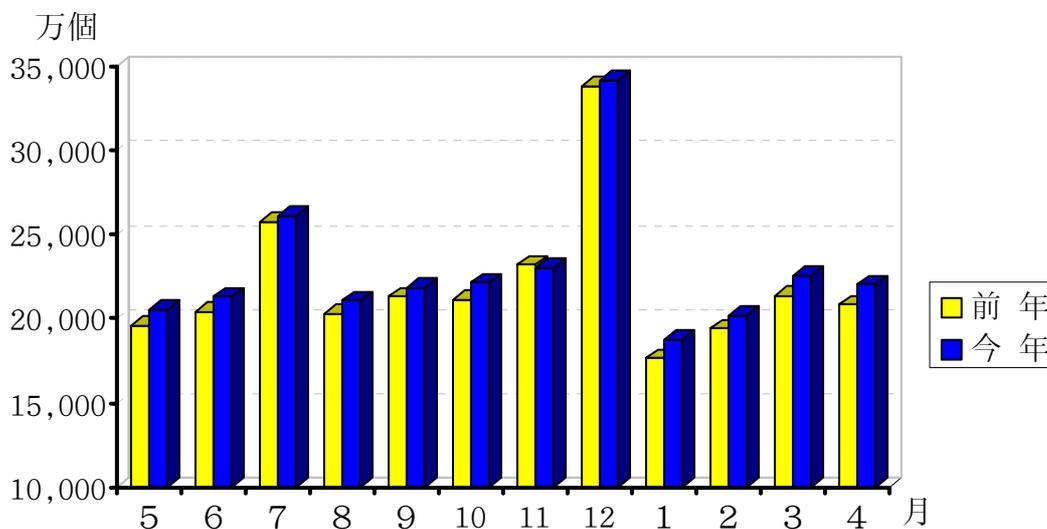
(図1-2) 32社の輸送トン数の前年同月比



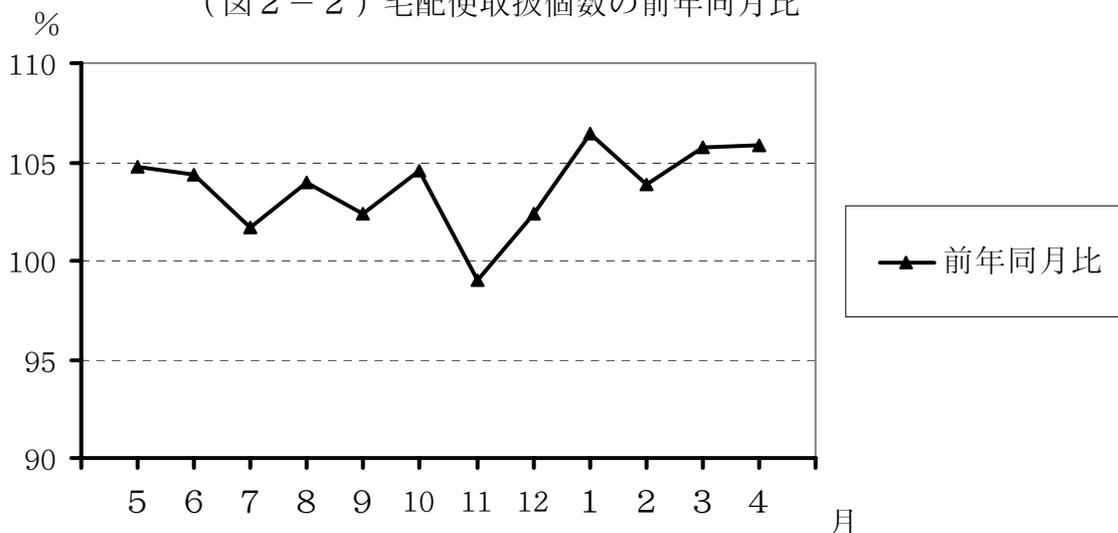
## ( 2 ) 宅配便の概況

調査対象20社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、220,327千個で、前月と比べ、約 546万個減少したため、前月比 97.6% (季節調整済み 99.4%)、前年同月と比べると、約 1,198万個増加したため、前年同月比 105.8%の実績であった。(図2 - 1、図2 - 2 参照)

( 図 2 - 1 ) 宅配便取扱個数の推移



( 図 2 - 2 ) 宅配便取扱個数の前年同月比



## ( 3 ) 品目別及び地域別輸送状況 (表1 参照)

前月と比べると、稼働日数減、決算期並びに引越シーズンが終了したことによる需要減の傾向が見られ、農水産品を除く品目で減少傾向を示している。理由としてはほとんどの品目で工場・生産地の貨物減や季節的な需要減を主な理由としており、金属製品、機械、化学工業品は倉庫からの貨物減も理由となっている。地域的には農水産品以外の品目においては関東、近畿地区を中心に輸送の増減が見られた。農水産品は東北、中国地区で輸送の増減が見られた。

前年同月と比べると、ほとんどの品目で工場・生産地からの輸送増を理由として、また、農水産品を除く品目において景気の回復を理由とした輸送増を理由とした増加があったことにより、全般的に輸送増となっている。地域的には農水産品以外においては関東、近畿、中国地区を中心に増加がみられ、農水産品は北海道、東北、中国地区で増加がみられた。一方でわずかではあるが一部品目で関東地区において工場・生産地からの貨物減による輸送量の減少もみられた。

(表1) 品目別増減状況(回答事業者数 32社)

品目	増減事業者数					主な増減品目 (上段が増加・下段が減少)	主な増減地域	※増減要因	
	著増	増	変らず	減	著減				
前月に比べて	農水産品	1	2	12	2	野菜、その他農産品	東北、中国	4	
						野菜、その他農産品	中国	4	
	金属製品			20	6	建築用金属製品、その他の金属製品	関東、中国、四国	4, 7	
						機械部品、その他の機械	関東	4	
	機械	2	20	4	1	機械部品、電気機械	神奈川、関東、北陸信越、中部、大阪、近畿、中国	4, 7, 8	
						塗料、合成樹脂、その他の化学工業品	関東、大阪	4	
	化学工業品	3	16	9		その他の化学工業品、化学薬品	関東、近畿、中国、四国	4, 7, 8	
						繊維	東北、関東、中部、中国	5, 7	
	繊維工業品	2	20	6		繊維	中部、兵庫	4, 8	
						加工食品	東北、東京、神奈川、関東、北陸信越、兵庫	4, 5, 8	
	食料工業品	6	15	6		加工食品、その他の食料工業品	関東、愛知、中部	4, 5, 7, 8	
							北海道、東北	7	
	日用品	1	16	9	1	書籍、その他の日用品、文具、玩具	東京、神奈川、関東、大阪、近畿、全国	4, 8	
						宅配貨物、百貨店配送品	東京、神奈川	7	
その他	2	19	5		宅配貨物、引越貨物	関東、全国	4, 8		
					野菜、その他農産品	北海道、東北、中国	4, 6		
前年同月に比べて	農水産品		4	13					
		1	4	18	2	1	その他の金属製品、建築用金属製品	関東、近畿	1, 4, 9
	金属製品						建築用金属製品	関東	4, 5, 6, 9
		2	3	21	1		電気機械、機械部品	東京、神奈川、関東、北陸信越、大阪、兵庫、九州	4, 9
	機械						家電品、機械部品	関東	4
		1	5	19	3		化学製品、塗料	神奈川、関東、大阪、兵庫、中国	4, 7
	化学工業品						塗料、化学製品	関東	4, 7
		2	3	20	3		繊維	関東、中部、近畿	4, 9
	繊維工業品						糸	中国	4
		1	9	15	2		加工食品、飲料	東京、神奈川、関東、愛知、兵庫	1, 4, 5, 7
	食料工業品								
		1	8	14	3	1	書籍・印刷物、身廻り品、その他日用品	東京、神奈川、関東、大阪、兵庫、中国、九州	4, 5, 7, 8, 9
	日用品						文具、その他日用品	北海道、東北、東京、近畿	4, 9
		1	4	17	4		宅配貨物、百貨店配送品	東京、神奈川、大阪、兵庫、全国	2, 4, 9
その他						宅配貨物、百貨店配送品	東北、関東、全国	4, 5, 10	

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都市圏(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都市圏を含む場合はそれらをのぞく府県)]単位である。

※増減要因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

## 2. 一般貨物

### (1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者（本月の回答事業者数 853社 / 調査対象事業者数 1,071社）の輸送量は、前年同月比 102.4%、前月比 93.6%であった。

(表2) 地方運輸局別 前年同月比・前月比

	全 国	北海道	東 北	関 東	北陸信越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄
前年同月比	102.4%	103.4%	100.9%	102.2%	102.8%	102.6%	102.0%	105.0%	95.6%	104.5%	113.5%
前 月 比	93.6%	93.0%	91.4%	97.1%	92.5%	93.2%	94.6%	89.7%	95.5%	95.3%	101.1%

### (2) 本月の地方運輸局別管内輸送状況（各運輸局より回答のあったもの）

北海道	冬季の終了に伴い、関連品目（雪等の「廃棄物」、灯油等の「その他の石油製品」）が減少し、「水産品」の減少も見られた。増加が見られたものは、農業関係の肥料等であった。土木関係品については年度末工事の終了による減少と冬期終了後の工事開始による増加があった。全体的には対前月比93.0%、対前年同月比は103.4%となった。今後の輸送見通しは、工事関係・農業関係の本格化に伴い、これらの輸送が次月及び以降とも増加するものと思われる。
東北	冬期終了による「その他の石油製品」等の減少、引越シーズンの一段落による「取り合せ品」の減少、季節的な影響による「野菜・果物」等の減少など季節的需要を反映した報告が多く見られたが、前年と比べると輸送トン数は増加している。このため対前月比は91.4%となったが、対前年同月比は100.9%であった。今後の輸送見通しは次月及び以降ともほぼ横ばい傾向にある。
関東	大型連休および行楽シーズン到来のため「食料工業品」「日用品」の品目の増加が見られた。その反面、季節的需要により「その他の石油製品」「繊維工業品」等が減少したため、対前月比は97.1%となった。対前年同月比は102.2%であった。今後の輸送見通しは、次月及び以降共に減少傾向にある。
北陸信越	年度末繁忙期が過ぎたことから本月の輸送は92.5%と減少した。目立ったものとしては土木工事の終了により「機械」「その他の窯業品」「砂利・砂・石材」「金属製品」等が、また、冬期終了により「その他の石油製品（灯油）」が減少した。対前年同月比は102.8%と上昇している。今後の輸送見通しについては次月及び以降とも減少傾向にある。
中部	前月が年度末であったため93.2%と減少したものの、対前年同月比は102.6%と8ヶ月連続して増加となった。増加品目としては建設関係を理由とした「その他窯業品」のほか「日用品」が、減少品目としては季節的需要の減少等により「その他の石油製品」、建設関係で「鉄鋼」のほか「工業用非金属鉱物」「金属製品」「セメント」「その他窯業品」等でみられた。今後の輸送見通しとしては、大型連休等もあり次月及び以降とも減少が見込まれる。
近畿	3月が年度末による需要増であったことの影響がみられ、対前月比94.6%となった。特に「工業用非金属鉱物」「鉄鋼」「機械」などの工業品や「日用品」「取り合せ品（引越貨物）」の輸送量が減少が目立っている。対前年同月比は102.0%と増加した。今後の輸送量の見通しは、全体的に次月以降も減少するものと予想される。
中国	管内の対前月比が89.7%と下がっているが、これは公共工事及び企業の決算等が4月に入って落ち着いたことによるものと思われる。ただ、対前年同月比については、105.0%と増加しているが、昨年における対前年同月比が減少であった（95.0%）であったため景気回復なのかは分からない。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向にある。
四国	春の季節的需要による「その他農産品」、飲料水等の出荷増により「食料工業品」が増加する一方で、季節的需要の減少で「野菜・果物」「機械」「セメント」「化学薬品」「化学肥料」「紙・パルプ」「取り合せ品」、公共工事の減少など建設関係で「金属製品」「その他窯業品」が減少し、このため、全体として対前月比95.5%、対前年同月比95.6%と減少した。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向にある。
九州	公共工事件数が減少したこと、また引越シーズンが終了したこと等の要因により、「砂利・砂・石材」「セメント」「取り合せ品」をはじめとする関連する品目での輸送量が減少した。一方で、多くの地域が農産物の出荷時期を迎えたことにより、主に「野菜・果物」の輸送量が増加した。これらの結果、全体の輸送量としては95.3%となった。対前年同月比は104.5%と増加している。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少の傾向にある。
沖縄	「野菜・果物（ゴーヤー）」、「機械（遊技機械）」及び「食料工業品（ビール）」・「金属くず」の輸送需要増加がみられたが、季節的需要の「その他の農産品（切り花）」の減少が見られた。このため対前月比では101.1%、対前年同月比では113.5%となった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向にあると予想される。

## (3) 運輸局別、品目別増減状況(対前月比)

回答のあった事業者数をとりました。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

運輸局		北 海 道	東 北	関 東	北 陸 信 越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄	全 国 計
1. 穀物	増	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	3
	減	0	3	0	1	0	0	1	0	1	0	6
2. 野菜・果物	増	0	0	1	1	0	1	0	0	12	2	17
	減	0	3	1	0	0	0	0	3	2	0	9
3. その他の農産品	増	0	0	0	0	0	1	0	2	2	0	5
	減	3	0	0	0	0	0	0	0	1	2	6
4. 畜産品	増	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	4
	減	1	1	0	1	0	0	0	0	3	0	6
5. 水産品	増	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	減	3	2	0	1	0	0	0	0	1	0	7
6. 木材	増	1	1	0	2	0	0	1	0	1	0	6
	減	4	1	0	0	0	0	1	0	1	0	7
7. 薪炭	増	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	減	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8. 石炭	増	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	減	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
9. 金属鉱物	増	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
	減	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
10. 砂利・砂・石材	増	6	0	0	1	0	0	1	0	2	0	10
	減	7	2	0	5	0	1	4	0	5	0	24
11. 工業用非金属鉱物	増	2	1	0	0	0	0	0	0	2	0	5
	減	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	4
12. 鉄鋼	増	0	0	1	1	0	0	1	3	1	0	7
	減	2	1	1	1	2	1	1	2	2	0	13
13. 非鉄金属	増	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
	減	0	2	0	1	0	0	0	0	2	0	5
14. 金属製品	増	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	4
	減	0	1	0	3	1	1	1	1	3	0	11
15. 機械	増	0	1	2	2	0	2	1	0	1	1	10
	減	0	1	1	3	1	3	5	1	5	0	20
16. セメント	増	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	4
	減	2	2	0	0	1	0	3	1	5	0	14
17. その他の窯業品	増	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	3
	減	0	1	0	5	1	0	0	3	1	0	11

